




## 就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	TANOSHIKA CREATIVE 東町	事業所番号	4012702751
住所	福岡県久留米市東町25-3 ブラザービル2階	管理者名	平野 将太
電話番号	0942-65-6842	対象年度	令和5年度


地域連携活動の概要	
<p>&lt;活動内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>活動場所:RAPAS(施設外就労先)</li> <li>実施日程:令和6年2月20日～</li> <li>実施した生産活動・施設外就労の概要 データ入力作業、データ確認作業・営業レター確認作業 レター封入作業、封緘作業</li> <li>利用者数:毎日6～7名にて</li> </ul>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p>  <p>データ入力作業</p>
<p>&lt;目的&gt;</p> <p>地域で働くことで相互理解を持って、共に働き共に学ぶことが出来る。施設外での作業に従事することで、環境の変化の経験や外部とのつながりを得ることで、刺激にもつながっていく。</p>	 <p>データ確認作業</p>
<p>&lt;成果&gt;</p> <p>施設内の業務以外にも経験することで、本来施設内ではできない経験につながっていく。営業レターの確認作業の中で、確認方法の工夫であったり、書き手によって変わる癖などをチェックしていくことで、柔軟な判断を求められる。そのため臨機応変なチェックや判断が苦手な方もチェックに携わることで練習することができています。データの確認作業などは、責任を持って取り組むことで、失敗や成功が蓄積されて自信につながっていく。施設内であれば、専門的な作業が多いため、技術が足りず作業に従事することができない人も作業に取り組むことで、働いている実感を得る。</p>	 <p>レター封入作業、封緘作業</p>

連携先の企業等の意見または評価			
<p>連携した結果に対する意見または評価</p> <p>データの入力と、手紙の検品の2つの作業をお願いして1年ほどたちます。ジャンルの違う2つのお仕事ですがどちらもミスもなく丁寧なお仕事に大変満足しております。手紙の検品は少し特殊なお仕事で、判断に迷うこともあるかと思うのですが、しっかりと確認をしながら作業をしてくださっているようで、安心してお仕事をお願いできております。</p>			
<p>今後の連携強化に向けた課題</p> <p>現状課題に感じる点はございません。弊社が取引先からリストの打ち込みなど細かい仕事を依頼されることが多く、これからデータ入力系のお仕事が更に増える予定ですので、これからもご協力いただけますと幸いです。</p>			
連携先企業名	株式会社RAPAS	担当者名	萩尾 様

## 就労継続支援A型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	TANOSHIKA CREATIVE 東町	事業所番号	4012702751
住所	福岡県久留米市東町25-3 プラザビル2階	管理者名	平野 将太
電話番号	0942-65-6842	対象年度	令和5年度

## 利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日程 令和6年 3月18日(月)13時～14時</li> <li>・場所 TANOSHIKA CREATIVE 東町 作業室</li> <li>・講義テーマ「報連相の大事さについて」</li> <li>・講義者 合同会社 Dweild 代表 宮本孝之 氏</li> <li>・参加者 職員 6名 利用者 28名</li> </ul>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p> 
<p>&lt;目的&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大事なポイントを講義で学ぶことで、報連相がなぜ重要なのかを学ぶ為。</li> <li>・報連相を学ぶメリットとして、A型事業所や今後の一般就労活動や就労後において、相手に正確な情報が伝わる事は、利用者さん自身の安心感につながる。</li> </ul>	
<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施した結果として、利用者さんからの報連相が以前よりも具体的になった。それが利用者さん自身の身を守る事、安心感を保つ事に繋がる事が感想として挙がった。</li> <li>・講義でも大事なポイントとしてあがった、話をまとめて伝える事は今後も利用者さんや支援側も含めて課題としてある。</li> </ul>	

## 連携先の企業や事業所等の意見または評価

<p>報連相は話し方も重要ですが、報連相においての大事なポイントを抑える事が重要です。</p> <p>①相手を呼称で呼ぶ事、②話を整理してから伝える。③伝えた内容が正しく伝わっているかを確認する。</p> <p>特に、③は重要です。その他、相手との距離感はひとそれぞれですし、聞き手側としては相手の顔を見てお話を聞く、リアクションをすることも重要になってきます。</p> <p>支援側が上記を意識していくことが今後に繋がっていくと感じています。期待しています。</p>	
連携先企業(担当者)	合同会社 Dweild 代表 宮本孝之 氏

## 利用者からの意見・評価

自分が話しているときにリアクションがないと話を聞いているのか・理解してくれているのかわからないから、その逆も然りで、相手が話しているときには自分も相槌や反応をする必要があると実感しました。

人の話を聞いていて、聞きやすい人とそうではない人がいるので、聞きやすい喋り方を意識しようと思いました。

声のトーンを落として、落ち着いた声で、ゆっくり喋ることを意識すると、自然と気持ちも落ち着くと知ってはいても、実際に緊張するとなかなか実践できていないので、緊張で頭が真っ白になった時こそ「ゆっくり」を心がけようと思いました。

自分の言葉の選び方・伝え方が相手に伝わりやすいものなのか、考えていこうと思います。